

無理強いをしてはいけないということ。

「勉強をがんばって、成績が上がったら誰しもうれしいと思うんです。でも能力を見極めて押し付けないことが大事なんです。ここまでしか上がらない能力を、それ以上にはできない。親御さんはお子さんのありのままを認めてあげてほしいんです。

かつて私を認めてくれない母にずいぶん悩みました。でも能力もない価値もないと思っていたどん底の私を、家族も友人も認めてくれました。ありのままの自分を受け入れられること、自己肯定感を持てること、それこそが重要だと思うのです」

女性が勉強する意味について、ほぼ全員に質問したが、安政にはあえて聞かなかつた。

それは、安政自身が勉強することで自己を保ち、自信を持つことができるということを体現しているからだ。

男性だって女性だって、勉強することで得られる何かがある。勉強の大切さとおもしろさ。できれば早い時期に知っておいたほうがいいかもしれない、と思った。

しかし、多くの人が勉強の必要性を痛感するのは、大学を卒業し、何年もたった中年以降なのである。